

自立活動の個別の指導計画を作成するための情報整理シート

1 実態把握 ※障害の状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活で見られる長所やよさ、課題等について
情報収集し、自立活動の区分に即して整理する

| | 健康の保持 | 心理的な安定 | 人間関係の形成 | 環境の把握 | 身体の動き | コミュニケーション |
|--------------------|-------|--------|---------|-------|-------|-----------|
| 難しいこと・できないこと | | | | | | |
| 支援があればできること・できるること | | | | | | |

●できないこと・難しいこと ◎できること ○支援があればできること

2 課題の抽出 ※抽出された課題は、四角で囲んだりアンダーラインを引いたりする

〈目標設定につながる「課題」としては捉えない視点の例〉

- 「できること」で、本人の強みとして生かすことができること
- 日常に般化できる見通しが立つ段階にあること
- 「支援があればできること」で、現状を維持していくことが妥当であること
- 数年間指導して、習得に至らなかったこと
- 「3年後に目指す姿」との関連が弱いと判断されること

残った実態
↓
抽出された
課題

3 課題同士の関連の整理と中心的な課題の明確化

4 指導仮説

5 指導目標

| | |
|----------------|--|
| 指導目標 (年間目標) | |
|----------------|--|

6 必要な項目の選定と具体的な指導内容の設定

| | |
|--------------|--|
| 短期目標 (学期) | |
|--------------|--|

※指導目標を達成するために必要な項目を選定する



| 分 類 目 | 健康の保持 | 心理的な安定 | 人間関係の形成 | 環境の把握 | 身体の動き | コミュニケーション |
|-------------|-------|--------|---------|-------|-------|-----------|
| | | | | | | |

※選定した項目を関連付けて具体的な指導内容を設定する

| | | | | |
|----------|--|--|--|--|
| 指導 内容 | | | | |
| 項目 | | | | |
| 指導 場面 | | | | |